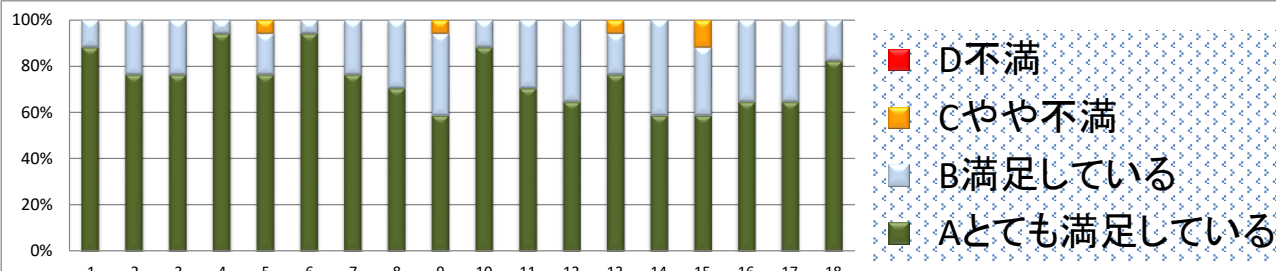


認定こども園だいち 評価 2026年3月 外部評価



1	園の教育目標や教育方針はわかりやすく伝えている。 取組み例：懇談会、保育参加時、各行事等でお伝えするようにしている。
2	園の教育目標が子ども達の中に育っていくのが感じられる。 取組み例：日々の保育のリズムや物的・人的環境の中から、日々の生活の中でたくさんの学びをしていると感じる。
3	園児は楽しそうで、野菜を育てたり、劇遊びなどを、楽しんで体験し生き生きとしている様子が伺える。
4	幼児の教育に、園の自然や施設を活用している。 例：園庭の斜面、園の農園
5	遊びを通してルールを学んだり、我慢したりといった経験を積めるような工夫をしている。 取組み例：自由遊びをたくさんする中で他者との関わりが増える。遊びの中にはルールがあったり、縦割り保育の中では年下の友達を思いやったり年上の友達に従ったり、自分の思いだけを通すことができないため我慢する力が育つ。
6	教育内容・方法は、園の教育方針を基にして作られている。
7	幼児が意欲的に描画など創作をする時間を大切にしている。例：水彩、クレヨン画などの時間。
8	教職員は子どもたちに熱心である。
9	食べ物についての話をする機会がある。例：“農園活動、園の給食の際などで伝えている”
10	縦割り保育などで相手の思いを受け止め、豊かな人間関係を築く、思いやりを育てよう導いている。
11	子どもの発達段階や興味・関心に応じた保育を心がけている。例：縦割り教育の中で年長活動も行っている。
12	職員は外来者への対応が丁寧で適切である。取組み例：朝礼、終礼時に誰にでも笑顔で挨拶できるよう確認し合っている。
13	行事予定や毎月のクラスだより、園だより等で、主として保護者を対象として園情報を適切に伝えている。 取組み例：クラス便り、KK、行事の手紙の内容が重複しないよう取組みを進めている。
14	保護者は、幼稚園行事に積極的に参加し、協力している。
15	ホームページ・ブログ・Instagram等で園の様子を積極的に公開している。 取組み例：ブログでは、行事だけを取り上げるのではなく各クラスごとの活動も取り上げている。
16	幼稚園は、保護者にとって連絡や相談がしやすく、それらに適切に対応している。 取組み例：園長先生の相談会などを設ける他、心配事には随時、相談に応じています。週に1度は担任が玄関に出られるようにしている。
17	保護者の要望に応じた預かり保育が実施されている。
18	園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。 例：週末に園全体の清掃、消毒を行ったり、外遊具に破損の疑いがないか目視にて確認している。また、年1回業者による外遊具点検を依頼している。

今回の評価結果について

今回の評価では、各項目につきまして、大半の方に「とても満足」「満足」とご回答頂きましたが、5・9・13・15の4項目につきましては、「やや不満」とお答えになった方が少数いらっしゃいました。

項目13に関しましては、近年のペーパーレス、IT化の流れに伴い、現在、クラス便りやKKレターなどのお手紙は、はいチーズノートにて配信しております。保護者の皆様にはデジタル配信にご理解を頂き、感謝しております。保護者の皆様は分かりやすく見やすいお手紙を目指して作成していきたいと思っております。

項目15では、ホームページにもブログが掲載されているということが、保護者の方に周知されていなかったのご指摘がありました。保護者の皆様には周知できるようお知らせする方法を検討していきたいと思っております。またInstagramの更新をもう少し増やしてほしいのご意見がありました。項目12の職員の外来者の対応、項目16の保護者の対応について、厳しいご評価を若干名頂きました。職員一同気を付けて対応をしていきたいと思っております。項目14では、クラス交流会、勉強会など、参加する方が決まっています、参加されない方の園の理解が低いとの厳しいご意見もありました。近年働いている方が増え、参加が難しいとは思いますが、積極的に参加して頂けるような情報発信、お声掛けやお誘いをして、園への理解を深めていければと思います。

今回も、ご評価頂きました皆様には感謝するとともに、結果を基に職員間で周知し、それぞれの項目の内容と、園の現状を精査して改善していきたいと思っております。貴重なご意見、ご回答ありがとうございました。